

第1回旧与謝小学校活用検討委員会 議事録

開催日 令和2年7月17日（金）19時30分～21時30分
場所 与謝野町役場加悦庁舎 元気館 2階 農事研修室

1 開会

農林課職員が開会を告げる

2 町長挨拶

（要約）

子どもたちが学び、育ち、そして地域の繋がりを確固たるものにしていく場所として育んでいただいたことに心より御礼申し上げます。

なお、与謝小学校の閉校に際しましては、子どもたちの学習環境や教育活動の充実を優先事項として捉えていただき閉校に至った決断に対し、それぞれの胸の内に秘めるものがあったかと思います。

そうした中で、私たちが旧与謝小学校を地域の皆様とともに育んでいく方法を是非とも考えだしたいということをそれぞれの区長さん方とも相談し、本日21名の委員の選出をいただき、第1回目の開催となりました。

皆様方が、旧与謝小学校に対し育てていただいた愛情を、これからの展開においても引き続き紡いでいくことが我々の使命の一つと考えています。

皆様方には、経過、活用案を含めて多角的なご意見をいただきながら、この場所をより良いものにしていただきたいと考えていますので、是非ともご協力とご支援そしてこの委員会における議論を活発なものにしていただきますようお願い申し上げます。

3 旧与謝小学校活用検討委員会委嘱状の交付

山添町長から各委員に交付

4 旧与謝小学校活用検討委員会設置要綱について

農林課職員から説明

5 委員長、副委員長の選出

委員長に今田博文氏、副委員長に西原成氏、塩野正人氏を選出

○今田委員長が議長として登壇。委員長挨拶

(要約)

今年度は加悦地域区長会の会長を仰せつかっています。そういった意味で検討委員会の委員長をさせていただくことになりました。

皆様と精一杯議論し、より良い与謝小学校、そして与謝地域を築いていきましょう。

6 検討事項

(1) 旧与謝小学校の活用に係る経過等について

○柴田学校教育課長から「施設廃止後の利活用の検討に関する流れ」について説明

(要約)

資料（3ページ）に基づきご説明します。

本年の4月1日に、加悦地域の3つの小学校が再編し、新加悦小学校が開校しました。この再編に伴い、与謝小学校の校舎については、今後は学校施設としては活用しないこととなりましたので、再編後の与謝小学校の利用について検討しました。

その経過は、廃校となった学校施設については、町が定める公共施設等総合管理計画実施計画・各種再編計画・統合計画等に基づき、検討することとなり、「町有財産活用推進委員会」で協議を行うことになっております。

与謝小学校の活用については、まずは、町が直接公の目的として使用する「行政財産」として活用を検討しました。行政財産の活用例は、岩滝保育所や岩屋保育所の例があります。保育所の閉園後は、保育所に入る前の乳幼児と保護者が使用する「子育て支援センター」として活用を行っております。与謝小学校のグラウンドや体育館は、現在のところ「社会体育施設」として「行政財産」

として活用することとしており、現在でも一般の方が利用していますが、校舎については、行政財産としての活用案は見出せませんでした。

次に、福祉施設や団体事務所として各種団体に貸付を行ったり、譲渡するなど「普通財産」としての活用を検討しました。普通財産としての活用例は、旧岩滝コミュニティセンターの例があります。現在は、福祉団体に貸付を行っており、デイサービスセンターとして活用しています。しかし、与謝小学校については、普通財産としても具体的な活用案はありませんでした。

そのため、次の段階として、地域の活用を検討していただきたいと考え、今回、与謝小学校区の皆さんで「与謝小学校活用検討委員会」を設置する運びとなったものです。

どうか、与謝小学校の有効な活用について、ご協議いただきますようお願い致します。

○井上農林課長から「町の提案」「利活用に係る法規制等」について説明

(要約)

柴田課長の説明のとおり、旧与謝小学校の活用については、現在「地域での検討」の段階となっていますが、「検討のきっかけとして、町から何らかの提案は無いのか」などの声をいただき、本日、たたき台として、農林課から提案します。

提案の概要は「クラフトビール醸造所を核とした複合施設」（４ページ）というものです。「町」と「事業主体」の関係は、施設全体に関しての「指定管理」または「貸付」または「譲渡」といった契約の相手方としての関係を想定しています。

各教室については、活用例のとおり、「地場産業での利用」「クラフトビール醸造所」「各種テナント」「地域コミュニティでの公共的な利用」など複合的に使うというもので、事業主体は、いわゆる大家さんのような位置付けで、教室を利用する者を統括し、施設全体を管理するイメージです。ただ、現時点で実現性のあるのは「クラフトビール醸造所」のみですので「核」という表現をしています。

ここに至る経過等を５ページに記しています。

「廃校施設の利活用に係る法規制等」（６ページ）として、他市町の事例を参考に、留意点等を記しています。「耐震」については、今の校舎をそのまま使用するとなると避けては通れないことと考えており、学校から用途を変更するとなると、耐震補強が必要となり、粗々の試算では、１億円、また、工事に

1 年間ほど必要かなと想定しています。

本日の提案は、「たたき台」ですので、この提案が、地域の振興に有効かどうかの点から検討をお願いします。

旧与謝小学校が地域の中心的施設となりますよう、また、検討委員会の議論が充実したものとなりますよう尽力する所存ですので、任期の一年間よろしくをお願いします。

(2)「町が提案する活用案」について

○京都与謝野酒造合同会社（以下「与謝野酒造」）から資料に基づき説明

資料のとおり

○質疑応答（要約）

1) 与謝小が閉校になりさみしい。与謝野酒造の計画はしっかりしたもの。クラフトビール醸造所で盛り上げることができればと思う。麦栽培は？農業振興につながることを期待したい。

⇒（与謝野酒造）麦は、既に生産者組合で試験栽培をしている。どこで麦芽（モルト）に加工するか、最低ロットなど調査・検討している。麦もホップも与謝野町産を目指したい。

2) 廃校施設の利活用に伴う法規制の内容及び費用について、どこからどこまで町が対応するのか？

⇒（町）本日の時点では、どこからどこまでの線引きは困難。検討を重ねる中で見出したい。事例としては、桑飼小学校への対応が一つの参考になると思う。耐震については、個人的見解として、貸すとなると施設の所有者が対応するのと思う。

3) 醸造所の予定製造量は？また醸造所は小学校をどれだけ使用する予定か？

⇒（与謝野酒造）今時点で、学校を必ず使えるということでは無いので、使えらるゝとすれば、予定製造量は年間60キロリットルを予定している。使う教室は4部屋程度と考えている。

4) 学校の部屋数は多い、テナントのイメージは？醸造所だと工場見学や試飲が思い浮かぶが？

⇒（与謝野酒造）製造のほかにタップルーム（＝ビールを提供販売するスペース）は考えている。テナントとしての1号になりたい。他のテナントとコラボレーション（＝共同作業）して大きくなれればと思っている。

5) 醸造所に使う教室は2階でも良いか？60キロリットルとは缶ビールで何本？

⇒（与謝野酒造）1階の方がありがたい。350ミリリットル缶で約17万本。

6) 水の使用量は？電源、臭気は？

⇒（与謝野酒造）水の使用量は明確に算出していない。ビールを作るよりタンクを洗う方に多く必要。電源、臭気等法律を順守する。臭気は発生するが、決して心地の悪い香りでは無いと思っている。

7) 施設の事業主体のあてはあるのか？耐震補強等の費用の捻出は？

⇒（町）事業主体は未定である。与謝野酒造は事業主体になることは考えていない、醸造事業に専念したいと聞いている。テナントも与謝野酒造以外は未定である。今後探す必要があり、公募も検討したい。耐震補強等の費用は今後の検討になる。

8) 雇用は？

⇒（与謝野酒造）醸造は専門職のため最初は町外からの雇用を考えている。その後、地元の方が学んでいただくのが理想。具体的な人数は未定だが、3～4人で開始して10人程というのが一般的な例か。できる限り地元からと考えている。

9) 年間の稼働日数は？

⇒（与謝野酒造）毎日の稼働を目指している。仕込みは少なくとも週1回。

10) 機械設備の費用は？

⇒（与謝野酒造）学校を使用できるか、またその条件によるが、6,000万円～1億円。

11) ホップは足りるのか？

⇒（与謝野酒造）色々なホップを使うが、ベースは与謝野ホップ。2t程を考

えている。与謝野ホップを求める人が多くなってきた。

1 2) 体育館、グラウンドは使うのか。

⇒（与謝野酒造）地域で活用されているので、使う予定はない。イベント等では使わせてほしい。一部、屋外タンクの用地は必要と考えている。

○議長から今後の進め方を提案

本日の説明だけでは委員の理解が十分に出来ないと思われるため、各自治区別に勉強会を実施してはどうか。盆までに1回開催で予定してほしい。

○議長降壇

7 閉会

○西原成副委員長挨拶

（要約）

与謝小学校区も今後人口減少が進むと思いますが、与謝小学校が地域で色々なことに活用できて、地域が活性化する方向で検討しましょう。

第1回旧与謝小学校活用検討委員会次第

日時 令和2年7月17日
午後7時30分～
場所 元気館 農事研修室

記

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 旧与謝小学校活用検討委員 委嘱状の交付
- 4 旧与謝小学校活用検討委員会設置要綱について
- 5 委員長、副委員長の選出
- 6 検討事項
 - (1) 旧与謝小学校の活用に係る経過等について
 - (2) 「町が提案する活用案」について
(京都与謝野酒造合同会社)
- 7 閉会

施設廃止後の利活用の検討に関する流れ（抜粋）

令和２年７月１７日

与謝野町

学校の廃校



公共施設等総合管理計画実施計画・各種再編計画・総合計画等に基づき検討する



『町有財産活用推進委員会』において協議（以降においても適宜協議する）



町において『行政財産』としての活用を検討（直接に公の目的に供される財産、条例制定）



活用案無し



町において『普通財産』としての活用を検討（行政財産以外 貸付・譲渡・交換可）



活用案無し



『地域』での活用を検討

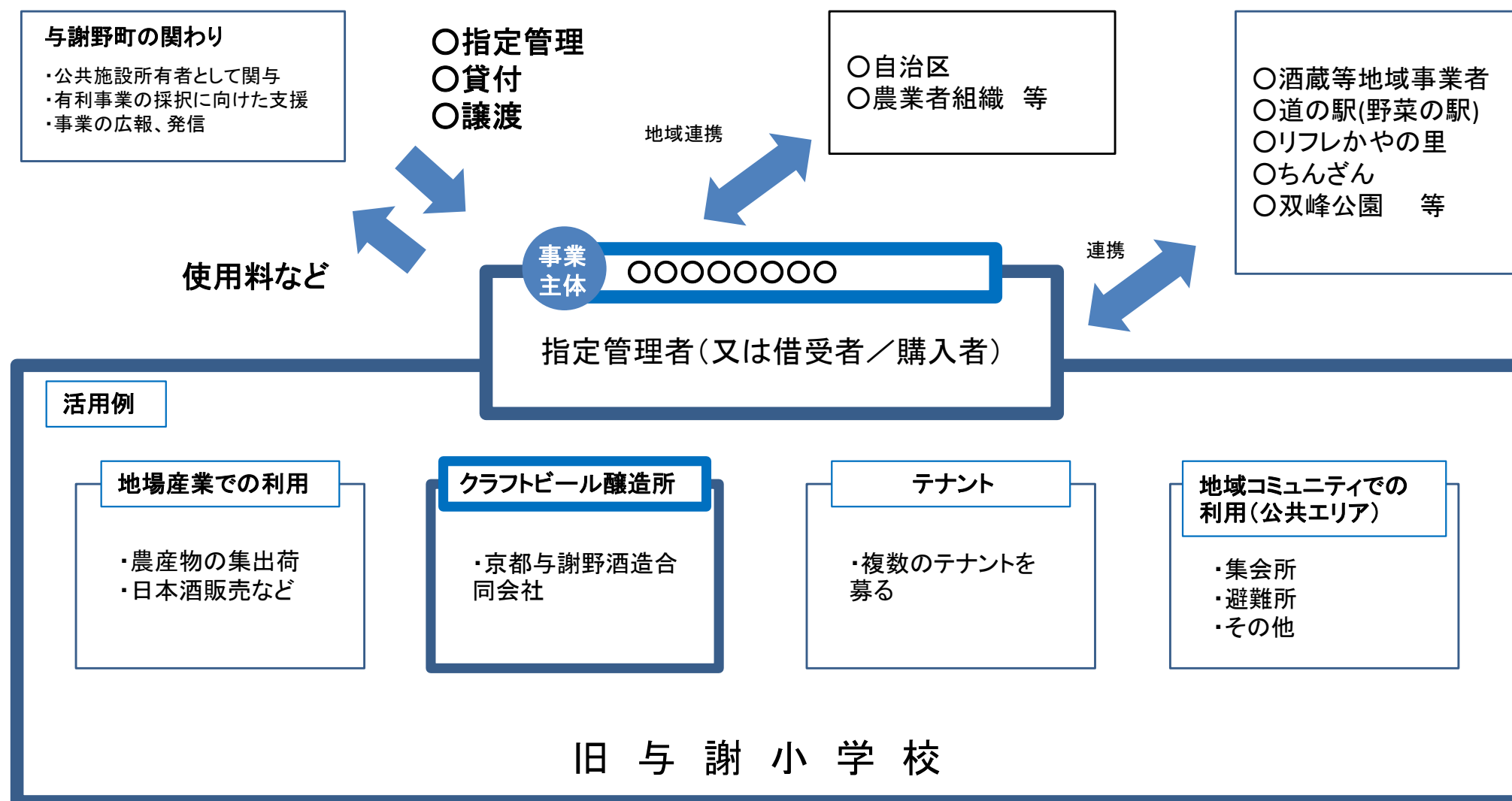


地域による施設活用検討協議会（仮称）等の設置を打診



旧与謝小学校活用検討委員会の設置

「クラフトビール醸造所を核とした複合施設」のイメージ



町が提案する旧与謝小学校の活用案

「京都市与謝野酒造合同会社」(与謝地区)
の提案に基づく

クラフトビール醸造所を核とした複合施設

としての活用

経 過

町が令和元年11月25日から募集した、「農林業振興事業提案(※)」の応募の中に、京都市与謝野酒造合同会社による「公共施設を活用したクラフトビール醸造所設置」の計画がありました。

町は、その提案について、提案会社の本拠地が与謝であり、ホップの主産地も与謝小校区であること、また実行性があることなどから、検討に値するものと位置付けました。

※募集以降の提案＝12者(内9者がホップ／ビールに関連したもの、9者の内4者が醸造所を計画)

廃校施設の利活用に係る法規制等

令和2年7月17日

- 建築基準法
京都府土木事務所建築住宅室
用途変更、大規模改修は建築確認が必要

※ 「耐震」

- 土砂災害防止法
京都府土木事務所建築住宅室
土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン） 構造基準
- 崖に近接する建築物
京都府土木事務所建築住宅室

- 指定管理、賃貸、譲渡 （指定管理料、賃料、譲渡価格）
- 検討 ⇒ 町長に提言 ⇒ 町長方針決定 ⇒ 町議会への説明、承認
- 国府の補助事業の活用
- 電気、水道（上下）、ガス
- 排水、騒音、臭気、ばい煙など

旧与謝小学校活用検討委員会設置要綱

告示第 6 8 号

令和 2 年 7 月 1 日

(設置)

第 1 条 廃校となった旧与謝小学校の利活用を検討するにあたり、広く意見を徴するため、旧与謝小学校活用検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項について協議、検討し、その検討結果を町長に提言する。

- (1) 与謝小学校廃校後の利活用に関すること。
- (2) その他町長が必要と認めること。

(組織)

第 3 条 委員会は、おおむね 2 0 人の委員で組織する。

2 委員は、次に掲げる者とし、町長が委嘱する。

- (1) 与謝区、滝区及び金屋区の区長
- (2) 与謝区、滝区及び金屋区の副区長
- (3) 与謝区、滝区及び金屋区の各区長の推薦による者
- (4) その他町長が必要と認めた者

3 委員長及び副委員長は、委員の互選により決定する。

4 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は、1 年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第 5 条 委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集し、議長となる。ただし、最初の会議は町長が招集する。

2 委員会は、過半数の委員が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 委員長は、会議において必要があると認めたときには、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(その他)

第6条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この告示は、令和2年7月1日から施行する。

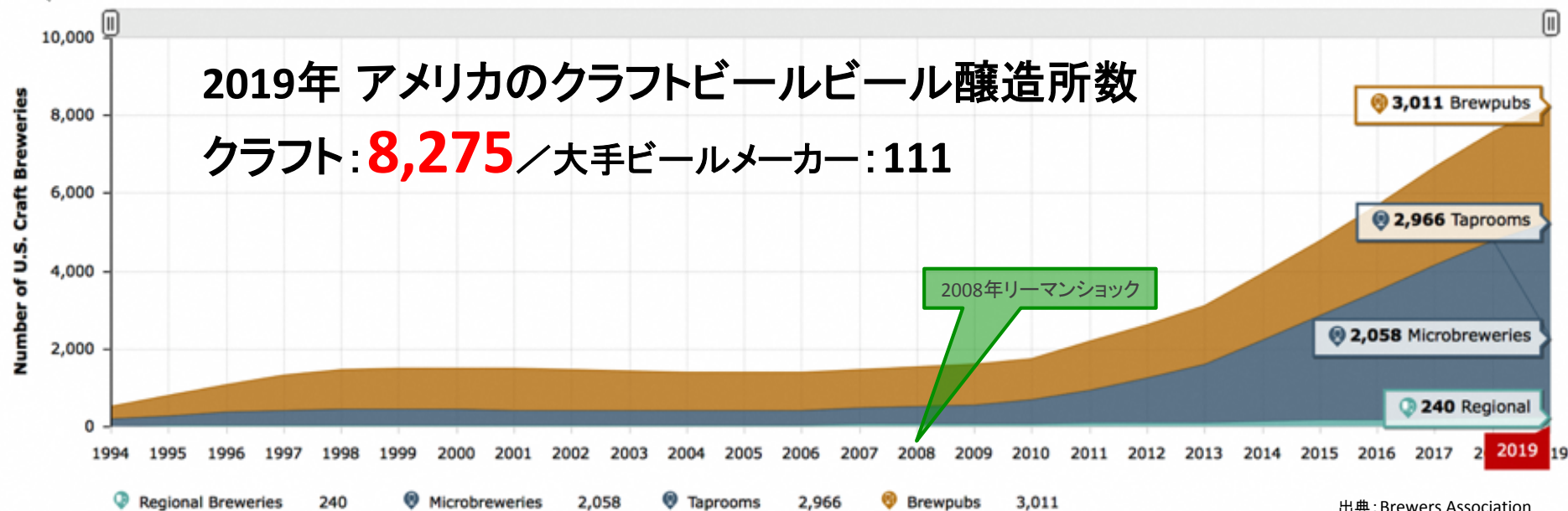


世界と日本のクラフトビールの現状

一般社団法人 日本ビアジャーナリスト協会
代表理事・ホップ生産者 藤原ヒロユキ



アメリカのビール事情

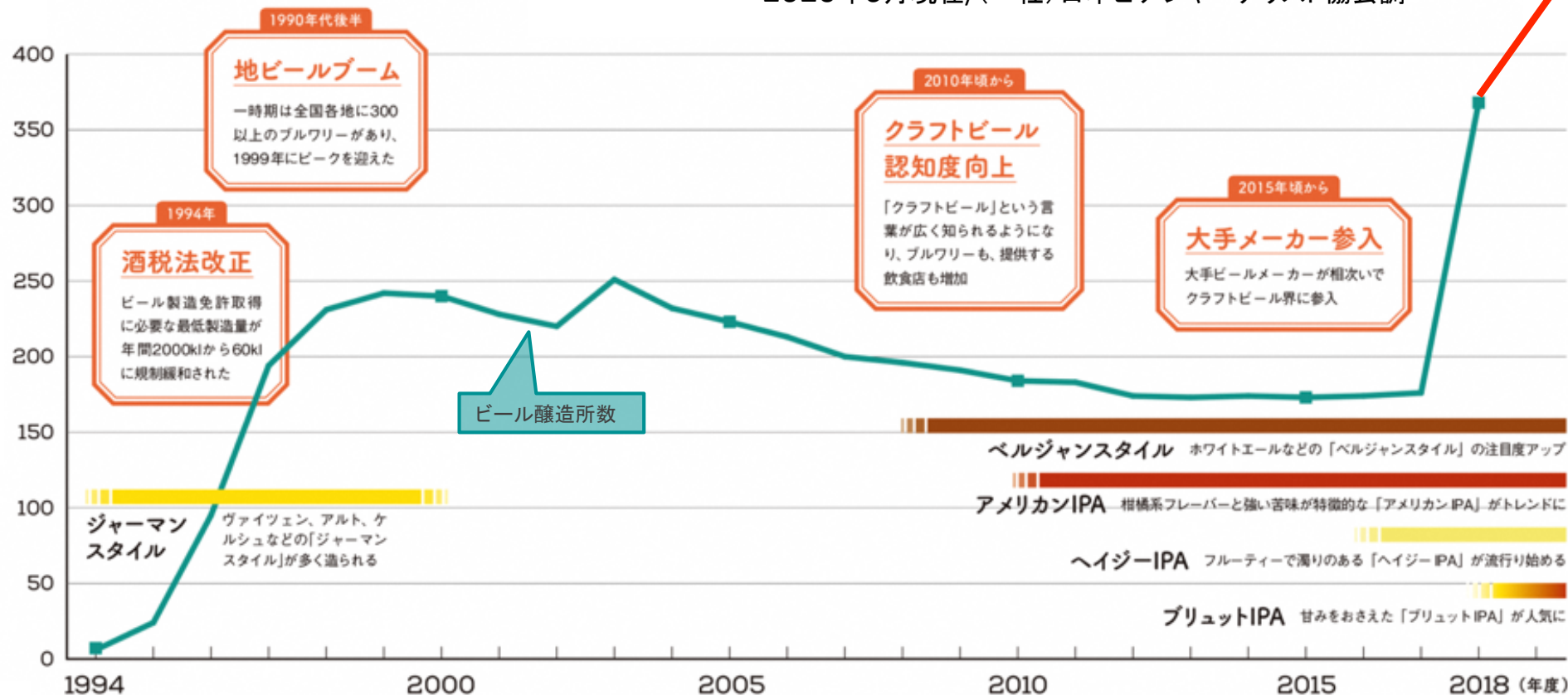


	2015	2016	2017	2018	2019
Craft クラフトビールメーカー総数	4,803	5,713	6,661	7,594	8,275
Regional Craft Breweries	178	186	202	230	240
Microbreweries	2,684	3,319	3,956	4,558	2,058
Taprooms					2,966
Brewpubs	1,941	2,208	2,503	2,806	3,011
Large/Non-Craft 大手ビールメーカー数	44	67	106	104	111
Total U.S. Breweries	4,847	5,780	6,767	7,698	8,386

さらにアメリカでは「クラフトビール」から「ローカルビール」というトレンドへ

日本のクラフトビール醸造所数 **423**

2020年6月現在/(一社)日本ビアジャーナリスト協会調べ



出典:クラフトビールの世界(明日からセブンイレブンで発売予定)
監修:(一社)日本ビアジャーナリスト協会

背景に大手ビール離れした若者がクラフトへ近寄り、醸造所が地域コミュニティの拠点に

日本のビール事情



コンビニに並ぶクラフトビール
ヤッホーブルーイング (長野)

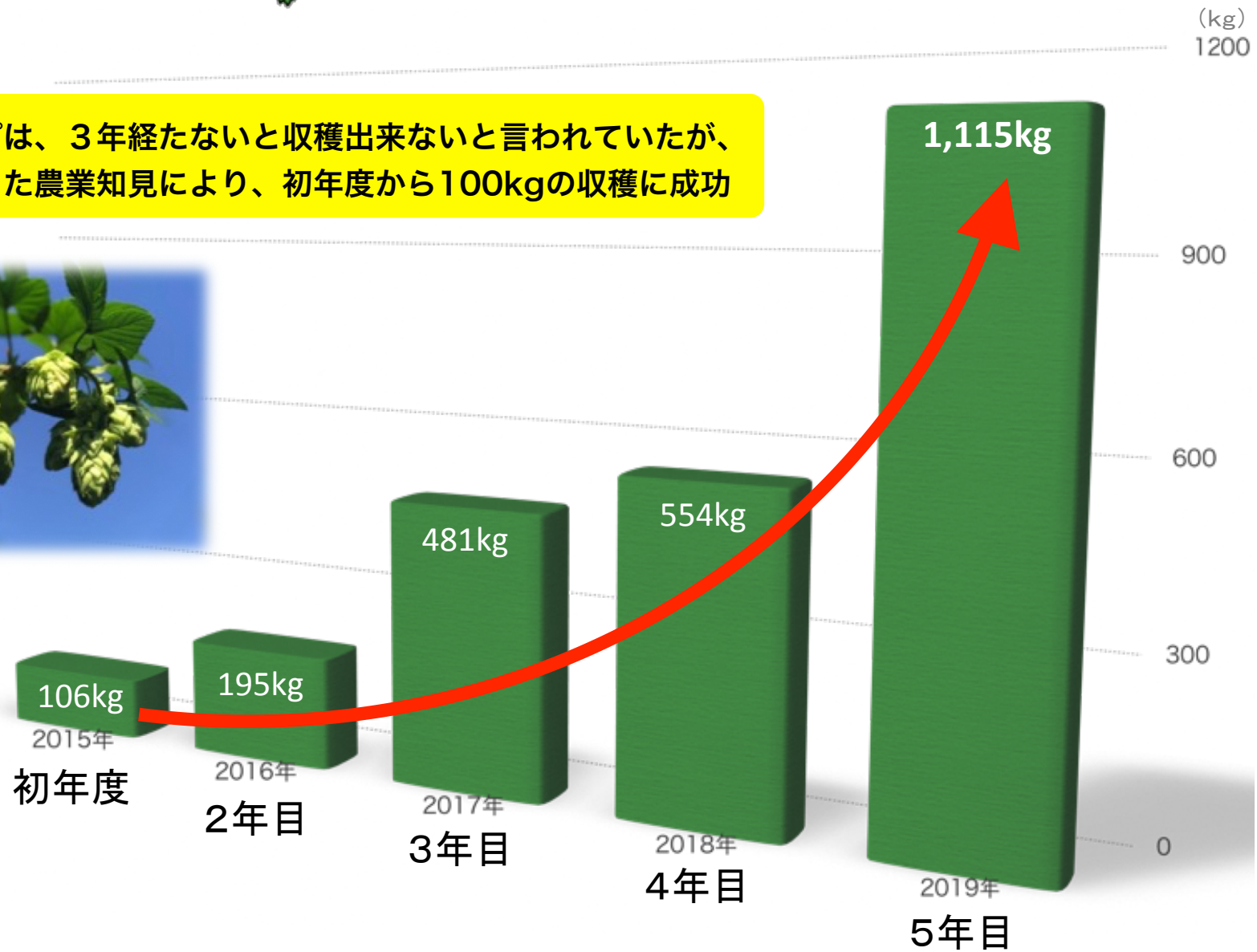


ニューヨークを走る常陸野ネストビールのトラック
木内酒造合資会社 (茨城)



与謝野産ホップ 収穫量推移

ホップは、3年経たないと収穫出来ないとされていたが、卓越した農業知見により、初年度から100kgの収穫に成功





与謝野ホップを使用したクラフトビール

出典: 京都醸造HP <https://kyotobrewing.com>



京都醸造「与謝野の挑戦」



京都醸造「与謝野の香り」



京都醸造「与謝野の涼風」



京都醸造「与謝野の飛躍」

※ 与謝野ホップ使用ビールは、発売後20分で売り切れたと聞いています。



与謝野ホップを使用したクラフトビール

※ スプリングバレーブルワリー京都では、YOSANO IPAが一番人気とのこと。

出典:SVB HP <https://www.springvalleybrewery.jp>



スプリングバレーブルワリー京都
「京都 YOSANO IPA」



スプリングバレーブルワリー京都
「与謝野の春」



スプリングバレーブルワリー京都
「京都 YOSANO IPA 天然酵母ver.」

その他:TYハーバーブルワリー「与謝野スパークリング」/小西酒造「与謝野ホップフィールド」/常陸野ネストビール・湘南ビールなど

与謝野ホップ ブランディング

- ① ホップの販売先を「品質の良いビール」を造る醸造所に限定
- ② 商品名に「与謝野」という地名を使用してもらうことで「与謝野ホップ」の周知に成功
- ③ 醸造家に与謝野へ足を運んでもらうことで、与謝野ホップへの理解と愛着を得た

ビール通にとって「与謝野ホップ」は、すでに「品質の良いホップ」というイメージが確立



ホップ栽培による対外的効果



毎日新聞 2016年7月23日付



京都新聞 2020年7月6日付



NHK「京のええとこ連れてって」
2016年8月25日放送



京都新聞WEBニュース 2019年8月24日



- ・本日、再放送あります
「新日本風土記・ビール」NHKBSプレミアム・BS4K同時
7月17日(金) 午後9:00～9:59
- ・来週も再放送あります
7月24日(金) 午前8:00～8:59

この5年間で、たくさんのメディア取材や各地からの視察がありました。

ホップ栽培による対外的効果



ホップ収穫イベントにたくさんの方が来町



今年から観光協会様と協力して募集を開始
ホップ栽培をボランティア体験する
ホップレンジャーに現在80名が登録

来町してくれた方には、ホップ以外の与謝野の魅力も感じてもらっている



ホップ栽培による対外的効果



シーラ・クリフ: 1961年イギリス生まれ。十文字学園女子大学教授。
大学で英語と着物文化を教える。民族衣裳文化普及協会の「きもの文化普及賞」を受賞。

着物研究家シーラ・クリフさんは、ホップ柄の丹後ちりめんがお気に入り

ビール醸造から期待できる波及効果



ビール醸造所が地域コミュニティの拠点になる



KYOTO YOSANO BREWERY

YOSANO HOP BRANDING PROJECT

京都与謝野酒造 合同会社

Copyright ©KYOTO YOSANO BREWERY G.K. All Rights Reserved.

company profile



京都与謝野酒造合同会社
KYOTO YOSANO BREWERY G.K.

設立
令和元年12月

資本金
7,000,000円

所在地
京都府与謝郡与謝野町字与謝855番地

代表社員
勢畑宏之（藤原ヒロユキ）

社員
杉山泰規
小松崎哲史
山本雅己
勢畑多恵子
松田敏樹

法人番号
9130003006312



京都市謝野酒造合同会社 代表

藤原ヒロユキ（勢畑宏之）

1958年、大阪生まれ。

国立大阪教育大学卒業後、中学教員を経てイラストレーターに。

1995年の酒税法改正にともない全国に広がった地ビールに

魅了されビアジャーナリストとして活動し数々の書籍を上梓する。

現在ビール関連書籍は日本随一の出版数を誇る。

特に著書「知識ゼロからのビール入門」（幻冬舎刊）は、台湾でも翻訳・出版されベストセラーになり、ビール業界関係者にとってのバイブルとして誉れ高い。

2010年には、一般社団法人日本ビアジャーナリスト協会を設立し代表として各種メディアでも活躍中。また2年に1度開かれる「ビールのオリンピック」と言われるワールドビアカップをはじめ国際ビアコンテストの審査員を務める。

さらに2012年からは、後進を育てるべくビアジャーナリストアカデミーを開校し学長を務め、これまでに300名にのぼる卒業生を輩出。

2015年には日本のホップ生産者を組織化し、ホップサミット、フレッシュホップフェストを主宰し日本産ホップを推進する活動を勢力的に実行している。

藤原ヒロユキ出演歴（抜粋）



《講師》

NHK文化センター／ビール講座講師
NPO法人FBO（料飲専門家団体連合会）講師
アカデミー・デュ・ヴァンビール講座講師
ジャパンビアソムリエ協会認定講座講師
大阪府高齢者大学校講師
ビアジャーナリストアカデミー学長
国税庁 日本産酒類の情報発信懇談会メンバー
ホリエモン万博
FOODEX
バイヤー大学 他、企業講演多数

《テレビ》

NHK「ごどナマ」
NHK「まる得マガジン」全8回
NHK「京のええとこ連れてって」
NHK「山陰スペシャル」
TBS「この差って何ですか？」
TBS「ウチの子、ニッポンで元気ですか？」
CX「キンキッズのブンブブーン」
MX「バラ色ダンディ」
TVO「ニュースリアルKANSAI」
NHK BSプレミアム「新日本風土記」
BS-日テレ 「バカリズムの大人のたしなみズム」
BSスカパー 「モノクラ〜ベ」
BSテレ東 「日経プラス10」 他多数

《広告》

「Master Card PRICELESS JAPANグローバルサイト」
「サッポロビール大人エレベーター53階」
「K&K 国分株式会社」イラスト／レシピ作成
「たのしいお酒.jp」（三菱食品）
「本麒麟」（麒麟ビール）
「DHCプレミアムビール」（DHCビール）

《ラジオ》

NHK R1 「ごどラジオ」
NHK FM 「ラジオ深夜便」
NHK FM 「トーキング ウィズ 松尾堂」
TBS-R 「荒川強啓のデイ・キャッチ」
bayfm78 「The BAY☆LINE」
J-WAVE 「岡田准一のGrowing Reed」
ABC 「朝も早よから芦沢誠です」他多数

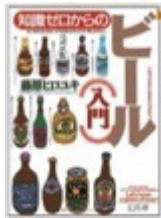
《新聞》

朝日新聞／毎日新聞／読売新聞／産経新聞
日本経済新聞／他業界新聞多数

《雑誌》

「東京カレンダー」
「pen」
「dancyu」
「おとなの流儀」
「DIME」
「AERA」
「週刊新潮」
「週刊文春」
「あまから手帖」
「週刊女性」
「女性セブン」
「メトロミニッツ」
「SPA!」
「Forbes JAPAN」
「JAL SKYWARD」（日本航空機内誌） 他多数

藤原ヒロユキ書籍一覧 (抜粋)



知識ゼロからのビール入門
(幻冬舎)



藤原ヒロユキのBEER HAND BOOK
(ステレオサウンド)



ビールはゆっくり飲みなさい
(日経プレミアシリーズ)



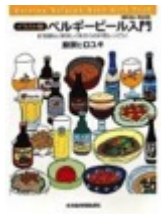
ビールの常識 絶対飲みたい101本
(Beer ASCII)



藤原ヒロユキのイラストで巡る
世界のビール博物館



今すぐ飲みたい! 厳選地ビール118



ベルギービール入門 (REAL Book)



NHKテレビテキスト ビールのABC
(NHK出版)



簡単だった!
プロ伝授の極上おかず帖
(NHK食彩浪漫)



本家に飲みたい! 世界のビール
(だいわ文庫)



本家にうまいビール215
(ソフトバンク新書)



厳選世界のビール手帖
(世界文化社)



ビールの図鑑
(マイナビ)



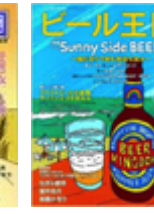
日本のクラフトビール図鑑
(マイナビ)



ビール大全 (楽工社)
ランディ・モーシャール (著)
藤原ヒロユキ (監修)



ビールが10倍楽しくなる知識 (小学館)
藤原ヒロユキ (原案) いっさ (著)



ビール王国 [季刊誌] 編集顧問: 藤原ヒロユキ
(ワイン王国)

2020年4月より藤原ヒロユキ監修のビール漫画「よりみちエール」が
講談社 ヤングマガジンサードで連載中!

The founder of KYB



設立メンバー紹介

杉山泰規

1964年大阪市生まれ、奈良県生駒市にて幼少期を過ごす。
21才より家業の建築内装工事・不動産業を手伝い、商業施設のコンサル及び店舗の運用管理を行う。(飲食店舗、ホテル、カラオケ等)
1995年よりWEBサイト制作及び運用管理にシフトし、化粧品メーカー、食品メーカー、流通業、NTTドコモ、NTT、JR西日本などのSNSやO2Oサービス提供。
2010年より滋賀県米原市の里山保全活動支援
2011年より箕面ビールのWEBサイトのリニューアルを手掛け、クラフトビールの美味しさに衝撃を受け、2018年与謝野ホップ収穫体験に参加。与謝野町と与謝野ホップに魅了され、今回のプロジェクトに参加。

小松崎哲史

税理士・中小企業診断士
経営革新等支援機関・日本政策金融公庫農業経営アドバイザー試験合格者
1995年立命館大学卒業後、京都市中小企業支援センターや三菱自動車工業で勤務。
2014年に小松崎哲史税理士事務所を開業。
京都産業21・京都府商工会連合会・京都府農業会議など京都を地盤に活動し、京丹後を中心にセミナーを継続的に開講。
与謝野町商工会で創業セミナー、事業承継セミナー、消費税軽減税率対策セミナー
宮津商工会議所で消費税軽減税率対策セミナー、宮津納税協会で消費税軽減税率対策セミナー、京丹後市商工会で創業セミナー、消費税軽減税率対策セミナー、丹後地域農業士会でキャッシュレス決済セミナー、消費税軽減税率対策セミナー 他多数ホップで繋がる地域コミュニティのあり方に共感し、本プロジェクトに参加。

The founder of KYB



設立メンバー紹介

山本雅己

有限会社あつぷるふぁーむの代表取締役として、水稻・野菜・果樹から花・畜産まで土と緑に関するあらゆる事業をこなす。

2015年、3年間は収穫の見込みは難しいとされたホップ栽培において、初年度から収穫量100kgを実現するという奇跡を起こす。新聞・テレビなど各種メディアに取り上げられ、全国各地からホップ栽培のノウハウを学びたいと視察が殺到。

現在は、年間ホップ収穫量1tを超えるまでに育て上げ、与謝野町を全国有数のホップ栽培地にした功労者である。京都市与謝野ホップ生産者組合の組合長も務める。

勢畑多恵子

1958年与謝野町生まれ。国立大阪教育大学卒業後、高等学校教諭（体育科）として各校を歴任。東京都女子体育連盟では、役員を務め高等学校におけるダンス教育に長年尽力する。教諭時代に著したダンス教育に関する論文は、国立国会図書館に多数所蔵されている。定年後、与謝野町にUターンしホップ栽培に従事する。都会からのホップ収穫体験者にホップの啓蒙活動を行う。ふるさとの発展と新産業の創出を目指し京都市与謝野酒造合同会社に参加。

松田敏樹

1973年大阪生まれ。中国・上海交通大学留学後、カナダ・トロントにワーキングホリデープログラムを利用し滞在。2014年コンテンツ制作会社(有)アンドオンを設立。ネット黎明期にいち早くWeb動画を使ったプロモーションスキームを確立し、その広告手法が話題となる。テレビ番組をはじめ、CM・PR映像・ウェブサイトを数多く制作しメディアを駆使した情報発信業務を実践。2011年日本ビアジャーナリスト協会運営に従事しWebサイトを再構築。ビール特化型のバーティカルメディアとして注目を浴びる。与謝野町でのホップ栽培プロジェクトには初年度から参加し、与謝野ホップのブランディング活動を実行。世界に発信できるローカルビール・カルチャーを目指して本プロジェクトに参加。

事業内容・計画

京都与謝野酒造

【1】 与謝野ホップ使用 ビール企画・販売

2020年6月9日

HOP-UPBEER(ホップアップビール)

- ・ 商標登録証取得

2020年7月9日

- ・ 酒類販売業免許取得
- ・ 自己商標酒類卸売業免許
- ・ 一般酒類小売業免許
- ・ 通信販売酒類小売業免許

2020年8月予定

- ・ HOP-UPBEER(ホップアップビール)
ハレバレゴールドデン発売
- ・ 与謝野町の酒販店並びに全国の酒販店
飲食店へ販売開始
- ・ オンライン販売サイトオープン
<https://yosanobeer.jp>

【2】 ビール自社醸造所開設

ホップ栽培地に近い
与謝野町 旧加悦町内にて、
候補地を検討致しております。

【3】 与謝野ホップ関連事業 企画・支援

- ・ 地域コミュニティの活性化
- ・ 与謝野ホップの6次産業化
- ・ 与謝野ホップ収穫体験イベント
- ・ 与謝野ホップビールフェスティバル
- ・ 与謝野ホップブランド作りとして
アパレル及びグッズ企画販売

Hop-Up Beer

2020年8月発売予定



2020.3.11



2020.3.11



2020.3.11



2020.3.11